

コロナ禍でも不測の災害に備え、日々消防団員はさまざまな活動をしています

訓練



訓練前の検温、マスクの着用などの感染対策を十分にとりながら訓練しています。

啓発活動



去年は男子バスケットボール（Bリーグ）シーホース三河に協力してもらい、ホームゲームで啓発活動も行いました。



特集

団員 私たち、消防士です

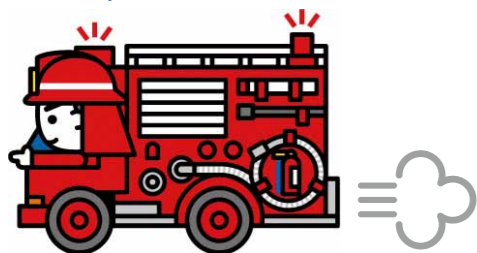
消防団員を知っていますか？災害が起きた時、現場へいち早く駆け付けて活躍するのは消防士ですが、消防団員も現場で活躍します。今回の特集では、そんな消防団員の活動内容や魅力に迫ります。
 〇 危機管理課 (☎62-1190)

年間行事

- 4月 辞令交付式、団員講習会
- 6月 市操法競技会
- 7月 夏季訓練
- 8月 県操法大会
- 10月 秋季訓練
- 11月 秋季火災予防運動
- 12月 年末夜間特別警戒
- 1月 文化財防火訓練
- 2月 実践訓練
- 3月 春季火災予防運動、観閲式

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止・延期する場合があります。

次は、実際の団員の皆さんに話を聞いてみるよ。次のページへ急行！！



消防団員の1年を簡単に紹介するよ



消防団員ってどんな人？
 「消防署にいる人たちでしょ？」と想った人、実は違うんです。消防署と同様に消防組織法に基づき、市町村に設置されている消防機関ではありますが、会社員や学生などの本業を持った人たちが組織されています。「自分たちのまちは、自分たちで守る」の精神に基づき、本業の傍ら、訓練や防災啓発を実施し、皆さんの住む街を守っています。刈谷市消防団員の平均年齢は30.3歳で、男性団員だけでなく、14人の女性団員も活躍しています。

何をしよう？
 災害時の出動だけでなく、地区の防災訓練、お祭りやイベントの警備などを行います。年末などに「カンカン」と鐘の音を鳴らしながら消防車が走っていますが、あれは消防団が防火・防災意識の高揚のための広報活動を行っているのです。他にも市内21個分団で、訓練の成果を競い合う消防操法競技会も年1回行われています。

全国的な事例では、東日本大震災をはじめとした大規模災害時には消防団員が住民の避難支援、被災者の救出・救助活動などで活躍しました。